

# 近年、老朽化地下タンクからの油漏れが増えています。経営者様は、ぜひお読みください！

■「高精度液面計」(精密油面計)は、消防法省令改正により義務づけられた危険物の流出防止措置の中で唯一、地下タンクからの微少な油漏れを検知することができる機能を有しております。その上、**価格が格安**のため設置にかかる**自己負担は最も少なく**、また**営業しながら短期間で設置**ができますので、**休業の必要がありません**。

■全国的に頻発している地震や地下タンクの老朽化により、万一、危険物の漏えい事故が発生した場合、社会的信用面への影響はもとより、流出した危険物の回収、汚染された土壌の回収・撤去、近隣への補償等に莫大な費用がかかるなど、計り知れない大きな負担を強いられてしまいます。

この度の消防法省令改正では、設置年数50年以上の「腐食のおそれが特に高い地下貯蔵タンク<sup>※</sup>」には、その対策として「内面ライニング施工工事」または「電気防食システム設置工事」のいずれかとなっており、「精密油面計設置工事」は含まれておりませんので、くれぐれもご注意ください。

■一方、設置年数40年以上50年未満の「腐食のおそれが高い地下貯蔵タンク<sup>※</sup>」には、「内面ライニング施工工事」・「電気防食システム設置工事」・「精密油面計設置工事」と、三つの選択肢があります。

油漏れの検知については「高精度液面計」(精密油面計)を選択することができますので安全・安心ですが、設置年数50年以上の「腐食のおそれが特に高い地下貯蔵タンク<sup>※</sup>」になりますと、「内面ライニング施工工事」または「電気防食システム設置工事」のいずれかとなり、油漏れを検知する術がありません。

しかし、設置年数50年以上の「腐食のおそれが特に高い地下貯蔵タンク<sup>※</sup>」だからこそ、万一の微少な油漏れを検知できる「高精度液面計」の設置が必要ではないのでしょうか？

■法律をクリアしているから安全・安心だとお考えかもしれませんが、確かに地下タンクの延命には効果が期待できる「内面ライニング施工工事」や「電気防食システム設置工事」であっても、万一の油漏れは検知することができません。

その責任は経営者自身にふりかかってくるのです。

■ぜひ、設置年数40年以上はもとより50年以上の「腐食のおそれが特に高い地下貯蔵タンク<sup>※</sup>」についても、万一の微少な油漏れが検知できる「高精度液面計」の設置をお勧めします。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

※「腐食のおそれが特に高い地下貯蔵タンク」および「腐食のおそれが高い地下貯蔵タンク」への該当については、地下タンクの設置年数、外面塗覆装の種類、設計板厚によって異なります。

「高精度液面計」は消防法省令改正により義務づけられた危険物の流出防止等措置の中で唯一、**【早期漏えい検知が可能】**です。また、設置にかかる**【費用は最も格安】**で、さらに**【工事も短期間】**で完了し、**【営業しながらの設置】**ができます。

正確なのが性格。これはもう、計測することを遙かに超越した、高感度センサーである。

# DSV X-1

国内実績No.1



### 漏えい等による液面の変化を素早く検知!

SKK独自の最先端計測技術により、僅か0.3mmの微細孔からの漏れ(1時間当たり0.3B)を検知することが可能となりました。地下タンクの目に見えないピンホールからの微少な漏れの早期発見を支援します!

【全危協評/第15-3号】米国環境保護庁/許可基準準拠

### 吸引管の異常による漏れも検知!

埋設配管の中で特に漏れが多い吸引管からの漏れを検知し、警報とプリントアウトでお知らせします。



### 限りなく誤差0に近い高分解能

磁歪のメカニズムを科学して生まれた次世代液面計。精度±0.1% (自動補正時)の実現により、従来不可能とされていた1リットル単位による高精度な液量測定と在庫管理が可能となりました。(諸条件により変動します。)

### 備えあれば憂いなしの直読計。

万一の電氣的トラブルや災害時などのアクシデントの際にも効果的なサポートを行う直読磁歪式センサー(オプション)

### 世界初 SKKの電氣的トラブルサポートシステム

デジタル容量表示 DSV-MSI



資源エネルギー庁による設置補助対象製品



改正消防法適合品

## 高精度液面計はSKK

磁歪式液面計の頂点へ  
**DSV X-1**  
DIGITAL SUPERVISION®



信頼と技術で未来へ  
**昭和機器工業株式会社**

営業本部 / 〒152-0002 東京都目黒区目黒本町2丁目9-5 TEL.03-3716-5777(代表) FAX.03-3716-2384  
本社 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目33-32 TEL.092-431-5131(代表) FAX.092-431-3851

東京支店 / TEL.03-3716-2391	大阪支店 / TEL.06-6399-0515	金沢営業所 / TEL.076-292-1612	岡山営業所 / TEL.086-243-3255	福岡支店 / TEL.092-431-1000	大宮工場 / TEL.048-663-9775	大宮営業所 / TEL.048-663-9775	青森営業所 / TEL.017-735-5222	広島営業所 / TEL.082-237-9231	熊本営業所 / TEL.096-389-8010	大宰府工場 / TEL.092-933-1775	福岡工場 / TEL.092-431-2398
横浜営業所 / TEL.045-301-9557	札幌営業所 / TEL.011-812-9528	岡山営業所 / TEL.086-243-3255	福岡支店 / TEL.092-431-1000	大宮工場 / TEL.048-663-9775	大宮営業所 / TEL.048-663-9775	青森営業所 / TEL.017-735-5222	広島営業所 / TEL.082-237-9231	熊本営業所 / TEL.096-389-8010	大宰府工場 / TEL.092-933-1775	福岡工場 / TEL.092-431-2398	
名古屋支店 / TEL.052-411-7782	仙台営業所 / TEL.022-239-6626	高松営業所 / TEL.087-834-7555	鹿児島営業所 / TEL.099-252-5861								

ISO 9001 ISO 14001 JAB CM009  
JQA-QM1172 JQA-EM503  
本社・福岡工場 大宰府工場  
<http://www.showa-kiki.co.jp>

★本製品を設置する際の国からの補助金については、上記支店・営業所までお問い合わせください。★

詳細はこちらへ >>>